

胃部検査のご案内

胃部X線（バリウム）

◆注意事項

- ・前日の夜9時から、食事、喫煙、飲酒は不可
- ・朝6時半以降は水分も摂取不可
- ・病変が疑われた場合は、後日胃内視鏡にて再検査が必要

◆胃X線検診の禁忌要件（該当する方は検査を受けられません）

- ・消化管の閉塞・穿孔またはその疑いのある方
- ・消化管出血（吐血・血便）や強い腹部症状（腹痛など）のある方
- ・過去の検診でアレルギー症状（蕁麻疹、息苦しさ、発疹など）が出たことがある方
- ・呼吸不全のある方〔片側の肺切除術後、COPD（Chronic Obstructive Pulmonary Disease）などで常時酸素吸入など〕
- ・腎不全にて現在透析中もしくは心不全で水分制限を受けている方
- ・急性心不全や重篤な不整脈などの心疾患がある方
- ・全身状態が悪く、検査に耐えられないと判断される方
- ・妊娠中、または妊娠の可能性がある方（授乳中の方は検査は可であるが、検査後に与薬する下剤に注意すること）

◆胃X線検診の除外要件（該当する方は検査を受けられません）

- ・腸閉塞や腸捻転、大腸憩室炎として治療を受けたことがある方
- ・食道・胃の外科的手術もしくは内視鏡治療を受けて1年以内の方
- ・医療機関で定期的に胃内視鏡検査を受けている、もしくは受ける予定がある方
- ・大腸、小腸の外科的手術を受けて1年以内の方（ただしポリペクなどの内視鏡治療の場合、術後3か月以降であれば可）
- ・炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）で治療中の方
- ・肝臓・膵臓・胆嚢・婦人科などの手術を受けて6か月以内の方
- ・検査前72時間以内に排便が全くない方
- ・過去の検診で検査が中止になるようなバリウム誤嚥を起こしたことがある方
- ・寝返りや立つときに日常的に介助が必要な方
- ・水頭症で脳室-腹腔シャント（V-Pシャント）が施行されている方
- ・ペースメーカーや植込み型除細動器（ICD）を装着している方
- ・撮影機器の体重制限（当院180kg未満）を超えている方

日本消化器がん検診学会「胃がん検診のための胃X線検査マニュアル 2025改訂第3版」より

胃内視鏡（胃カメラ）

◆注意事項

- ・前日の夜9時から、食事、喫煙、飲酒は不可（水、お茶のみ可）
- ・医師判断で組織を採り検査を行う場合がある（※服薬中の薬によっては観察のみになる）
- ・胃部X線から胃内視鏡への変更追加料金 ¥3,300（税込）

◆検査方法

スコープは全件細径スコープ（直径5mm）

① 経口	喉のつらさがある
② 経口（鎮静剤使用）	鎮静剤（緊張を和らげ、検査を受けやすくする薬）を注射する 鎮静剤使用後は、 終日運転不可 土曜検査不可 重症筋無力症の方は不可 別途追加料金 ¥3,300（税込）
③ 経鼻	喉のつらさは軽いですが、鼻の痛み、鼻血が出る、スコープが通らない事がある 当日鼻からの挿入が適さないと判断された場合、経口へ変更になる可能性がある